

▶「いも掘りの集い」から



平成15年第3回定例会

平成14年度各会計の決算を認定

一般会計決算

歳出総額765億円

各事業を積極的に展開

平成15年第3回定例会は、9月1日から29日までの29日間の会期で開催しました。市長提出議案は、平成14年度府中市一般会計歳入歳出決算の認定をはじめ、府中市市民生活の安全確保に関する条例、府中市地域まちづくり条例など23件を審議した結果、可決13件、認定10件となりました。また、陳情10件を審議しました。

平成14年度一般会計歳入歳出決算は、予算総額785億1158万2000円に対し、歳入決算額は、778億6218万5000円で、執行率は99・2%、歳出決算額は、765億7974万4000円で、執行率は97・5%です。

なお、歳入歳出差引額から繰越明許費5605万5000円を除いた12億2638万6000円が実質収支額となります。

この議案の提案に当たり、市長から、「各種事業の見直しを行うとともに、経常経費の削減や契約差金等の執行残を凍結するなどの内部努力により歳出を抑制し、収支の均衡を保つよう努めた。

次に、新たな総合計画の初年度である今年度の施策の主な成果は、子育て支援中核施設・高齢者施設と保育所の複合施設の基本設計、府中市福祉計画の策定など、各福祉施策の充実を図ったほか、NPO・ボランティア担当と緑化担当の市政ダイレクターを選任した。また、コミュニティバス導入に向けた実験運行、詩人村野四郎記念館の新設などを行った。

そして、平成16年度の完成を目指し、府中駅南口第三地区市街地再開発事業が起工されるとともに、西府土地区画整理組合が組合設立の認可を受けるなど、南武線新駅の実現に向けて大きく動き出した。

更に、道路の新設、公園の整備など都市基盤の充実に努めるとともに健康、環境、教育など、各分野で各事業を積極的に展開し、一定の成果を得られたものと考えている」との説明がありました。

そして、9月18日から25日までの5日間にわたり、決算特別委員会で慎重な審査が行われました。9月29日の本会議で、賛成・反対の討論が行われ、「福祉、子育て支援等の充実を図るとともに、スクラップアンドビルドにより、市民ニーズに合わせた28の新規事業が実施された。その実績を評価するので賛成する」、「本決算は、高齢者福祉や市民サービスの削減を行う一方、府中駅南口第三地区市街地再開発事業に多額の税金を投入し、一般会計への負担を生じさせたので反対する」等の意見がありました。

採決の結果、賛成多数で平成14年度一般会計歳入歳出決算を認定しました。